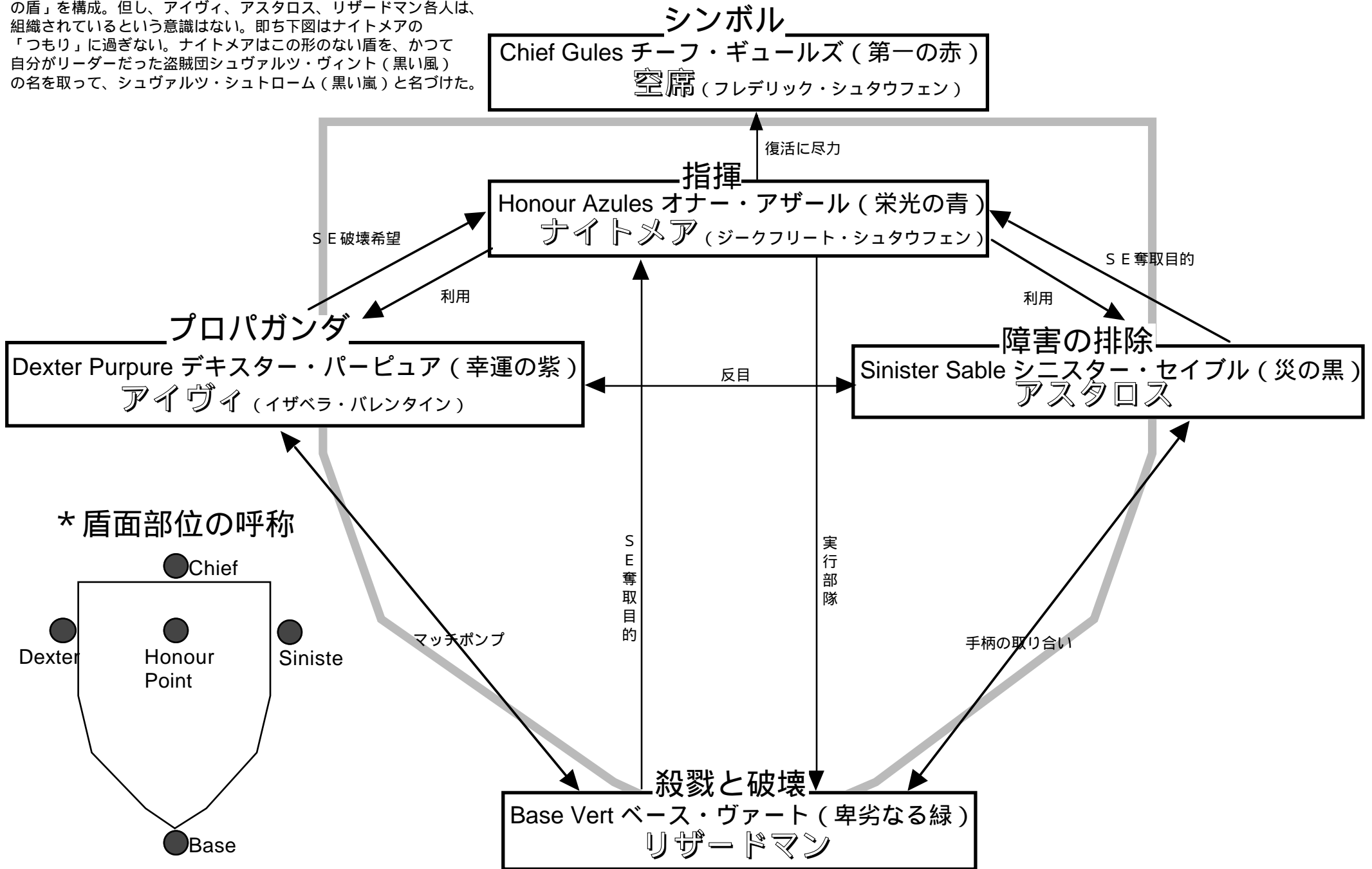


# シュヴァルツ・シュトローム：組織図

～騎士でありながら盾を持たないナイトメアが、ソウルエッジに魂を吹き込み、父フレデリックを復活させるための殺戮を行う際、身を守る手段として「組織としての盾」を構成。但し、アイヴィ、アスタロス、リザードマン各人は、組織されているという意識はない。即ち下図はナイトメアの「つもり」に過ぎない。ナイトメアはこの形のない盾を、かつて自分がリーダーだった盗賊団シュヴァルツ・ヴィント（黒い嵐）の名を取って、シュヴァルツ・シュトローム（黒い嵐）と名づけた。



## \* 盾面部位の呼称

